

選挙公報原稿用紙

受 年 月 日	年 月 日
受 番 号	No.

市民のくらしを守る県政

大型開発中心の岐阜県政、
それを支えるオール与党議会に異議あり
唯一の野党の議席を増やしてください

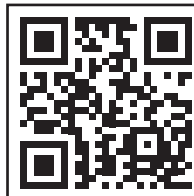
- 県の借金は約1兆7476億円（県民1人当たり約87億円）となっています。
その原因は
 - ・国の道路事業である東海環状自動車建設の負担金(毎年100億円の借金)、巨大な新県庁舎など多額の借金に依存している大型公共事業にメスを入れる提案は日本共産党のみです。
- 多額の借金のシワ寄せが市民の福祉、教育、暮らしに向けられ県民サービスが削減され、県民負担が増やされています。その一例が
 - ・高校生のタブレット(教材)が貸与を打ち切り、各自負担となっています。

暮らしと福祉を良くするための提案
自治体本来の仕事をすすめるべきです

- 子育て、教育への支援
 - ・高校入学時のタブレット自費購入を撤回し、貸与を継続。
 - ・教員の未配置、免許外教科担任の解消。
 - ・市町村の子どもの医療費助成を支援し、子育て支援の充実。
- ジェンダー平等
 - ・性差によるハラスメントをなくす。
- 排外主義に反対
 - ・ヘイトスピーチをはじめあらゆる差別を許さない姿勢を、県として明確にする。
- 物価高騰対策、生活支援
 - ・水道料金引き下げのため市町村を支援。・高い国民健康保険の引き下げ。
 - ・賃上げを行う中小企業、小規模事業者を直接支援。
- 福祉、社会保障
 - ・病院のベッド削減に反対。地域医療機関を守る支援。
 - ・加齢性難聴者への補聴器購入支援制度の導入。
- 公共交通政策
 - ・路線バスの料金引き下げのための支援。

プロフィール

- 1982年生まれ 大垣市在住
- 大垣工業高校卒業
- 元 民青同盟岐阜県委員長
- 現在、党准県委員



日本共産党

は
た
の
純
子

じ
ゆ
ん
こ

43歳

候 補 者 氏 名	
担 当 者 氏 名	
電 話 番 号	— —